



お知らせ

## 義援金・救援金を受け付けています



区は、さまざまな義援金や救援金を受け付けています。独自の取り組みで、友好都市金沢市のある石川県に対し、能登半島地震の災害義援金を、地震発生後から現在も受け付けています。

### 義援金とは？

大規模な自然災害が発生した際に受け付ける寄付金です。集まった義援金は、義援金配分委員会で金額を決定し、被災者に配分されます。

義援金名	受付期限(※)
友好都市金沢市のある石川県に対する令和6年能登半島地震災害義援金(区独自)	当面の間
令和6年能登半島地震災害義援金(日本赤十字社)	12月12日
令和6年9月能登半島大雨災害義援金(日本赤十字社)	

### 救援金とは？

海外で発生した自然災害や紛争などで、被災者に対する支援活動資金に活用される寄付金です。区では、日本赤十字社などの活動への救援金を受け付けています。

救援金名	受付期限(※)
中東人道危機救援金	令和8年3月24日
バングラデシュ南部避難民救援金	
ウクライナ人道危機救援金	令和8年3月17日

※区での受付期限。日本赤十字社の受付期限とは異なります

### 寄付の方法

寄付したい義援金・救援金によって方法が異なります。

詳細はこちら >>>



問 地域振興課区民活動支援係 (☎ 5722-9871、FAX 5721-7807)

区長  
コラム

ずっと もっと めぐる



皆さん、こんにちは。区長の青木英二です。

連日、厳しい暑さが続いています。アメリカ海洋大気庁の発表によりますと、5月の世界の気温は過去2番目に高かったとのこと。日本においても太平洋高気圧の勢力が強いとのことで、先月中旬には一時、日本付近の天気図上から梅雨前線が消滅する現象も発生しました。私もそうですが、「梅雨はどこに行ったのだろう?」といった感想をお持ちになったかたも多かったのではないのでしょうか。熱中症に伴う深刻な健康被害のニュースも増えてきています。救急搬送されたり亡くられるかたは、高齢者や子どもたちに限られているわけではありません。誰もが自分事として、十分に警戒し、備えていく必要があります。

ここで、6面でご紹介した「めぐるキッズパーク」について、私からもご案内させていただきます。

今回のイベントは、区内にある大学や民間企業などと区のパートナーシップを深めていく取り組みの中から企画されました。7月13日(日)の当日は、親子で楽しい思い出づくりができるようなブースがいくつも並びます。バラエティに富んだ内容になっていますので、夏の自由研究のヒントも見つけられるかもしれません。事前のお申し込みは不要ですので、ご興味を持たれたかた、お近くのかたなど、気軽に足をお運びください。なお、詳細は記事、区ウェブサイトにてご覧いただければと思います。

また、区と大学、民間企業などとの連携についてご興味のあるかたは、区ウェブサイトの「公民連携の取り組み」のページも、この機会にぜひご覧ください。



目黒区長

青木英二



## 防災 QUIZ

地震編



役立つ防災・防災の知識をクイズで紹介。  
いつもの備えを、もしもの時の安心につなげよう。

Q

災害により外出先から自宅に帰宅できない人を指す「帰宅困難者」という言葉は、東日本大震災で注目を集めました。  
大きな地震の影響で電車が止まり、その日のうちに徒歩で家に帰れなくなってしまった時、あなたが取るべき行動は？

①

むやみに移動せず  
安全な場所にとどまる



②

自家用車やタクシーを利用して、  
急いで帰宅する



③

数日かけて徒歩で  
帰宅する



この面の一番下で答えを確認しよう!

問 防災課 (☎ 5723-8700、FAX 5723-8725)

## Megu's Diary めぐの日記

区内在住のインテリアコーディネーターめぐが  
おすすめする区内のスポットを日記につづっている。



no.44:

### 自由が丘納涼 盆踊り大会

場 自由が丘駅前ロータリー  
時 7月19日(土)～21日(祝)  
18:00～21:00



浴衣でどこかに行きたいなって思っていたら、自由が丘で盆踊り大会があるらしい! 毎年、J-popなどの新曲を追加して振り付けを動画で配信しているし、踊りコンテストもあるんだって。夜のフィットネスを踊りの練習に変えて、当日までに完璧に仕上げちゃおうかな。

#### 自由が丘納涼盆踊り大会

自由が丘駅正面口前ロータリーにやぐらを組んで開催される、夏の人気イベント。定番曲や最新の楽曲、自由が丘公式キャラクターの「ホイップるん音頭」などの多彩なラインナップで、世代を問わず踊り盛り上がる。



問 広報広聴課 (☎ 5722-9486、FAX 5722-8674)

これまで訪れたおすすめスポットは「おでかけマップ」から >>>



## 防災 QUIZ

正解は ▶▶▶

①が正解。発災後は、むやみに移動しないでください。移動中に、余震などにより二次災害や群衆雪崩に遭う恐れもあります。救助・救命活動が優先される災害後3日間程度は、近隣の安全な場所にとどまりましょう。帰宅困難者のための一時滞在施設もあります。平常時に、東京防災アプリなどで会社や学校の近くの一時滞在施設の場所を確認しておきましょう。